



仲間の不当解雇を許さないぞ！

会社・産業医の恣意的な医適により運転士職剥奪と解雇！

会社は、大阪第二運輸所において無事故で新幹線運転士を続けてきた分会長に対して、今年9月突然、医学適用検査による乗務不適であると連絡をしてきました。

分会長は、これまで無事故で新幹線運転士として何の健康被害もなく乗務してきました。会社からの通知後も、再度、産業医との面談で現在も健康被害は発生していないことを申告しました。

しかし、産業医の岡崎は再度の面談でも、具体的な検査結果を提示するよう求めた質問に対して、「産業医の判断」を繰り返すのみで、納得出来る説明はありませんでした。さらに、専任社員の就労期間満了直前の通知となった理由や、具体的な規定、診断内容についても文書や具体的な説明は本人、労働組合にはいっさいありません。これが長年、乗客の生命を預かり、無事故、無違反で安全を守ってきたベテランの新幹線運転士に対する対応でしょうか。正当な理由を開示できない会社、岡崎産業医の対応は、JR東海労組合員を職場から排除する恣意的な判断であり断固、許せません。

医適の判断の口実となっているのは産業医による理由だけであり、かかりつけの主治医の判断や診察結果は一切含まれていません。

産業医による恣意的な医適を利用して仲間の雇用を奪った会社の(クビ切り)行為は断じて許せません！

職場での組合活動は労働組合の権利だ！

組合掲示板の撤去は不当労働行為である！

また、会社は、職場の組合員の数を口実にして組合掲示板を撤去すると通知してきました。

大阪第二運輸所、大阪仕業検査車両所にはJR東海労組合員がまだ存在しますが、会社はこれまで、強制出向やこの度の医適による恣意的な運転士はく奪と解雇を強行し、職場から東海労組合員を排除してきました。

リニア建設費の莫大な借金を抱える問題や、要員不足の問題について東海ユニオンは何ら声を上げていません。私たちは、このような問題を、組合掲示板で広めてきましたが、職場では真実を見る事が出来なくなります。これでは社員の生活や未来は不安だらけです。会社は、真実を伝えたり、東海労の運動に賛同する社員が拡大されては困るために、東海労組合員や掲示板をなくそうとしているのです。私たちは最後まで、真実を訴え続け労働条件の向上を目指すために闘い続けます。